

群馬県内で存在感を高める化学工業

群馬経済研究所主任研究員 櫻澤広祥

調査のポイント

群馬において主要産業の一つである「化学工業」について、統計データによる群馬の特徴や、主な企業の活動状況をまとめた。

要約

- 製造品出荷額等でみると、群馬では、化学工業が輸送用機械器具製造業、食料品製造業に次いで大きい。県内の化学工業は、付加価値率（製造品出荷額等に占める付加価値額の割合）が高いのが特徴である。
- 化学工業を小分類でみると、「医薬品製造業」「有機化学工業製品製造業」「化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品製造業」の3業種で化学工業全体の製造品出荷額等の約4分の3を占める。また、付加価値額では「医薬品製造業」で化学工業全体の半数近くを占める。
- 地域別では、高崎市、安中市、伊勢崎市、太田市、渋川市の順で化学工業の製造品出荷額等が大きい。
- これらの地域には、医薬品製造業の「協和キリン株式会社」「日本化薬株式会社」、有機化学製品製造業の「信越化学工業株式会社」「群栄化学工業株式会社」、無機化学製品製造業の「関東電化工業株式会社」、化粧品製造業の「コーセーインダストリーズ株式会社」など、主要企業の生産施設が立地している。